

施策	(1)コミュニティバスと農村地域予約制乗合タクシーの利便性向上	1	担当部署	企画課	総合戦略	4(2)
----	---------------------------------	---	------	-----	------	------

1 施策の進捗を把握する指標

2

区分	目標指標名	説明						
指標1	「コミュニティバスの利用のしやすさ」の満足度	満足度は、まちづくり町民アンケートで「満足、やや満足、普通」と回答した割合						
	戦略KPI	該当	R1年度 (基準)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (中間目標値)	R7年度 (戦略目標値)
	達成率評価基準値(R12目標値: 73.0%)		-	68.0	68.7	69.3	70.0	70.5
	実績値(%)		66.7	75.5				
	達成状況 (◆達成状況の評価方法参照)	達成率	-	111.0	-	-	-	-
		達成度	-	5	-	-	-	-
	【特記】	新型コロナウイルス感染症対策により、緊急事態宣言等の外出自粛が発令されたが、コミュニティバス利用者の満足度は高い評価となっている。						

区分	目標指標名	説明						
指標2	「乗合タクシーの利用のしやすさ」の満足度	農村地域予約制乗合タクシー利用者へのアンケート調査による満足度						
	戦略KPI	非該当	R1年度 (基準)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (中間目標値)	R7年度 (戦略目標値)
	達成率評価基準値(R12目標値: 94.0%)		-	92.4	92.6	92.8	93.0	-
	実績値(%)		92.0%(R2)	100.0				
	達成状況 (◆達成状況の評価方法参照)	達成率	-	108.2	-	-	-	-
		達成度	-	5	-	-	-	-
	【特記】	新型コロナウイルス感染症対策により、緊急事態宣言等の外出自粛が発令されたが、乗合タクシー利用者の満足度は高い評価となっている。						

◆達成状況の評価方法	達成率	100.0~	90.0~99.9	80.0~89.9	60.0~79.9	~59.9
	達成度	5	4	3	2	1
		順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	遅れている	大きく遅れている

2 自己評価及び次年度に向けた継続・課題点

3

自己評価	(総合計画評価)	4.9	当該施策の達成度 (目標指標の平均) (総計) (戦略)	5.0	5.0	令和3年度は、2つの目標指標が共に、当該年度の達成率評価基準値を大きく上回り、総合計画の中間目標値や総合戦略の目標値を達成する結果となったが、乗務員との意見交換や乗降調査、利用者アンケートの実施などを踏まえながら、利便性の向上などに取り組んできた結果であると捉えている。新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛(5/9~7/11:まん延防止等重点措置・緊急事態宣言、8/2~9/30:まん延防止等重点措置・緊急事態宣言、1/27~3/21:まん延防止等重点措置)に伴い、依然として利用者数は低迷しているが、感染症対策を講じながら、継続してコミュニティバス及び乗合タクシーを運行することにより、現状サービスにおける利用者からの満足度は高い評価となっている。
	(総合戦略評価)	4.9	当該施策の事務事業評価の総平均	4.9		音更町地域公共交通活性化協議会の活動内容が固定化していたことにより、令和3年度は4.9点となったが、令和4年度からは、同協議会において地域公共交通計画の策定に向け、アンケート調査や先進事例調査の実施などに取り組み、地域公共交通の活性化や利便性向上につながる方策等について検討する予定となっていることから、これまで以上に、コミュニティバスや乗合タクシーの利便性向上などが図られる取組になることが期待される。
自己評価及び前年度から改善された点 ・次年度に向けた課題			近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少する傾向にあったが、コミュニティバスの令和3年度の延べ利用者数は、令和2年度よりも1,162人増加し、30,037人まで回復した。しかし、乗合タクシーの令和3年度の延べ利用者数は、令和2年度よりも6人減の815人と、ほぼ横ばいとなっていることから、公共交通関係者や町民で構成されている音更町地域公共交通活性化協議会において、令和4年度新たに策定予定である地域公共交通計画に公共交通の利便性向上につながる具体的な内容を盛り込み、それを推進する体制を整える必要がある。			

3 本施策により推進されるSDGsと配慮すべき経済・社会・環境への影響

4

推進されるSDGs	SDGs-No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		推進:○			○					○	○		○						○
配慮すべき経済・社会・環境への影響	コミュニティバスや乗合タクシーを運行することにより、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」など、複数のゴールの推進が図られているが、コミュニティバスの運行に伴う二酸化炭素の排出により、環境面では一定の負荷がかかっていると考えられることから、温室効果ガスの削減に向けた取組として、定期的な路線の見直しや電気バス等の導入なども検討する必要がある。																		

4 施策の推進に向けて取り組んだ事務事業

5

R3年度

No.	事務事業名		事務事業の内容	事業費実績額					累計額	
	担当部署	財源		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
1	コミュニティバス運行事業費		内容：市街地における交通弱者等の足を確保するコミュニティバスの運行経費に対する補助等	金額(単位:千円)	11,496					11,496
	企画課			町10/10	事務事業評価(定性)					
	妥当性	5								
	有効性	5								
	効率性	5								
平均	5.0									
【特記】	新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛が発令された期間もあったが、大雪による運休以外は事業を休止することなく予定通り運行した。									
2	農村地域予約制乗合タクシー運行事業費		公共交通不便地域である農村地域の住民が、まちなかまでの交通手段を確保するために実施する、乗合タクシーの運行経費に対する補助等	金額(単位:千円)	7,065					7,065
	企画課			国1/2 町1/2	事務事業評価(定性)					
	妥当性	5								
	有効性	5								
	効率性	5								
平均	5.0									
【特記】	新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛が発令された期間もあったが、事業を休止することなく予定通り運行した。									
3	地域公共交通活性化協議会		地域公共交通活性化協議会による利用促進施策の検討	金額(単位:千円)	-					
	企画課			-	事務事業評価(定性)					
	妥当性	5								
	有効性	4								
	効率性	5								
平均	4.7									
【特記】	令和3年度は、事業内容が固定化していたこともあり、有効性を4としたが、令和4年度は、地域公共交通計画の策定に向けて、アンケート調査の実施などに取り組み、地域公共交通の活性化に向けた方策等について検討する予定である。									
4				金額(単位:千円)						
				事務事業評価(定性)						
	妥当性									
	有効性									
	効率性									
平均										
【特記】										
5				金額(単位:千円)						
				事務事業評価(定性)						
	妥当性									
	有効性									
	効率性									
平均										
【特記】										
6				金額(単位:千円)						
				事務事業評価(定性)						
	妥当性									
	有効性									
	効率性									
平均										
【特記】										
事務事業累計(1~6)				金額(単位:千円)	18,561					18,561
				妥当性	5.0					
				有効性	4.7					
				効率性	5.0					
				総平均	4.9					